(桜川市行政評価システム) 記入年月日 の実績評価) 令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 月 20 事業区分 事務事業名 エコグッズ配布事業 新規/継続 継続 事務事業№. 050801000226 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 030301 所属課 総合計画の施策名 0508 生活環境の保全 生活環境課 05 快適な暮らしのまちづくり 課長名 環境公害対策G 施策名 08 生活環境の保全 グルー 系 01 ①環境問題の意識向上 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 丵 誀 事業 細 一般会計 単年度繰返し (平成22 年度~) 予算科目 01 04 01 03 02 00 環境衛生事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 事務事業の現状把握(その1) (D_0) (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 エコグッズの配布により、家庭ごとに取り組める温暖化対策などについて理 環境工口啓発活動 解していただき、市民一人ひとりがCO2削減やゴミの減量化など「環境保全・ 各種イベントにおいて、エコグッズを無料配布 地球温暖化防止・ごみ減量化」の意識を啓発する。 段 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 ①手段 (担当者の活動内容) (活動量を表す指標) 単位 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) エコグッズの配布枚数 枚 1,000.00 400.00 1,000.00 1,000.00 1,000.00 イベントや節電キャンペーンの際に環境啓 0,00 0.00 0.00 0.00 0.00 発のためのエコグッズを配布。 課窓口啓発配布 0.000.00 0.000.000.000.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 世帯数 世帯 13,453.00 13,502.00 13,454.00 13,406.00 13.358.00 市民 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.000.0006年度 ∩2年度 03年度 04年度 05年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) るのか) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 環境負荷軽減活動の実践度 % 80.00 80.00 74 10 80.00 80.00 環境に優しい生活を心掛け、エコライフ運 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 動に取組んでもらう 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 O4年度 05年度 06年度 期間限定 (3)投入量(事業費)の推移 (実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 千円 O 0 \cap 県支出金 千円 \circ 0 C 投 事 源 地方債 千円 \cap \cap \cap 使用料•手数料 千円 0 0 0 費 訳 その他 千円 0 O 0 宇宙 -般財源 110 110 110 事業費計(A) 千円 110 110 110

-1	枚	\equiv $-$
----	---	--------------

110

5,00人

合

計

03年度事業費 実績(千円)

正規職員従事人数

量

費の内訳

10 需用費

5,00人

5.00人

O4年度事業費 予算(千円)

合

計

110

				(桜川市行政評価システム)		
	グッズ配布事業	事務事業No.	50801000226	所属課 生活環境課		
	きっかけは、いつ頃どんな経緯で開		いは5年前と比べてどう	変わったのか?		
	したため、エコグッズ配布事業に移 行					
	係者(住民、議会、事業対象者、利	害関係者)からどんな意見や要	望が寄せられているか?			
特に意見はない						
【See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。			·		
			びついているかの)			
改	この事務事業の目的は市の政策体系に結び	「ノくか?息凶することが結果に結	ひついているか?)			
<u>「結びついている</u> 自然環境の保護・地球温暖化防止等の環境社会に貢献している。						
善 ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業はその名称)						
である この事業の推進は、環境啓発に反映されるので、市が行うことは妥当である。 この事業の推進は、環境啓発に反映されるので、市が行うことは妥当である。 この事業の推進は、環境啓発に反映されるので、市が行うことは妥当である。 この事業の推進は、環境啓発に反映されるので、市が行うことは妥当である。 この事業の推進は、環境啓発に反映されるので、市が行うことは妥当である。 この事業の推進は、環境啓発に反映されるので、市が行うことは妥当である。 この事業の推進は、環境啓発に反映されるので、市が行うことは妥当である。 この事業の推進は、環境啓発に反映されるので、市が行うことは妥当である。 この事業の推進は、 この事業の推進は この事態の変態を ことに						
③ 成果の向上余地 (成果を	を向上させる余地はあるか?成果の現状が	k準とあるべき水準との差異はない	か?何が原因で成果向上が	期待できないのか?)		
向上余地がある	<u>向上余地がある</u> 今後も多くの市民に環境負荷軽減などについて啓発する必要がある。					
④廃止・休止の成果への影響	響 (事務事業を廃止・休止した場合の	影響の有無とその内容は?)				
有 一						
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名						
余地がない	類似事業がない。					
(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)						
効 率 性						
☆ ⑦ 受益機会・費用負担の適	正化余地 (事業の内容が一部の受益者	者に偏っていて不公平ではないか?	受益者負担が公平・公正に	なっているか?)		
公						
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)						
(1) 1次評価者としての評	· · · · ·	(2) 全体総括(振り返り	、反省点)			
①目的妥当性 ■ 適切 ②有効性 □ 適切 ③効率性 □ 適切 ④公平性 ■ 適切	□ 見直し余地あり ■ 見直し余地あり ■ 見直し余地あり ■ 見直し余地あり □ 見直し余地あり	啓発時の意識啓発として関連 思われる。	したグッズを配布した。	今後はより一層の環境啓発が必要と		
(3) 今後の事業の方向性						
□終了 ■ 継続	■ 改革改善を行う □		効率性の改善 公平性の改善	- (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト		
□ 廃止 □ 休止	□ 現状維持] 統廃合ができる □		削減 維持 増加 向		
	を上で解決すべき課題(壁)とその解 ス感染症予防のため中止になってい		果窓口配布に実施した。	成果 持		
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項						
(1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)						
課長確認後の評価 A:継続(現状維	_ *************************************	7在記欄 「				
B:継続(改革改	善を行う) D:2次評価へ提出					